

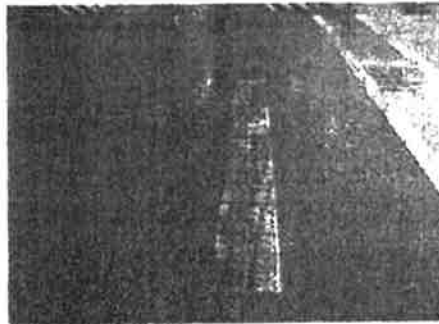
舗装汚れに特化した新製品

2種類販売、小労力で洗浄効果

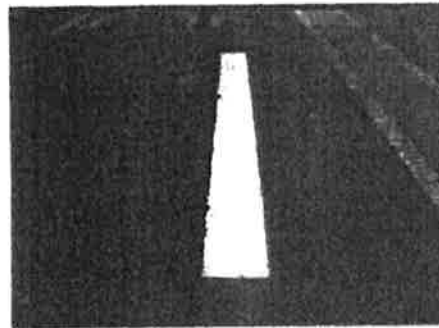
大林道路ら

大林道路と三洋化成品は共同で、舗装や道路付帯設備の汚れに対応可能な新製品「洗浄剤キレイザー」を開発、販売している。取り扱いが簡単なほか、従来の洗浄剤では落としにくかった油や乳剤、タイヤ痕などのさまざまな汚れを小労力で落とすことができる。売上目標として、年間1000万円を目指す。

洗浄剤キレイザーは、用途の違いでSタイプとEタイプの2種類に分か



洗浄前



洗浄後

れている。キレイザーは、舗装の一般的な汚れとされる油汚れやサビ、タイヤ痕に対応する。使用方法として、3倍に希釈してから、汚れの箇所にハンドスプレーで噴霧、ブラシで軽く擦り、布などで拭きとつ

た後、水洗浄を行う。一方、キレイザーEは、アスファルト乳剤や機械の油汚れ向けの製品。原液のまま使用し、洗浄面に原液を塗布した後、布などで汚れを拭き取る。注意点として、Eタイプは主要成分が石油系のため、アスファルト舗

装には使用不可となっている。両製品の使用にあたっては、保護手袋や保護メガネ、マスクの着用を原則とし、安全性については、安全データシート(SDS)で詳細を確認できる。販売価格は、キレイザーSのスプレー容器タイプ(1.67リットル)が4500円(税別)、4リットル容器タイプで3万円(同)。キレイザーEは、4リットルタイプが2万円(同)で、18リットルで3万円となっている。販売は同社が担当し、主に舗装会社や建設会社、その他民間工場などをメインターゲットに展開していく。